

東京六大学野球春季リーグ戦\_対早稲田第2戦 (2024/4/28(日)) 観戦報告

2024/4/30 企画委員会 須天

(試合結果) 明治が5対2で勝利 (前日4/27(土)は早稲田が5対4で勝利、これで1勝1敗。)

(参加者数) 多摩支部からは8地域支部より有志15名が参加されました。ありがとうございました。

(試合経過) 立ち上がりは両軍投手 (M 高須 : W 宮城) とともに制球良く、連打得点に繋がらず緊迫した展開でした。しかし4回に木本の犠牲フライで1点を先取、その後6回には小島大河、光弘のタイムリーが続き、3-0と優位に展開、8回は小島大河の犠牲フライ、光弘のタイムリーで5-0と安全圏。8回から継投の千葉も制球良くこれで楽勝と思いましたが、9回裏に早稲田の印出に2ランを浴び5-2。しかし後続を断ち切って勝利しました。ヒット本数は両軍各7本、繋いだ明治の勝利でした。



(須天補足と感想) 晴天で気温28度を超え絶好の観戦日和となり観客数は16,000人でした (明治5 : 早稲田3 (須天目測))。明治はランナーが出ると「送りバント必須」、データ確率を重んじる現代野球を痛感しました。2/29に骨折した宗山選手が驚異的な回復で4月から復帰、この日長打は出ませんでした。フルスイングと豪快な飛球を見せてくれたことに感動、感心しました。続報として翌4/29の第3戦は残念ながら5対0で早稲田勝利、4/30現在で明治はK、Wに続く3位です。



(ご案内) 2024年秋季リーグ戦は、慶応戦の観戦を計画します。どうぞよろしくお祈りします。

(今回父娘でご参加いただいたO様へ) 応援団リーダー部や吹奏楽部、ジェスターズの姿が見えにくく、娘さんに明治の華やかさや良い雰囲気を感じられなかったのではと心配です。ぜひ明治大学の若者と触れる機会を探してあげてください。

以上

